

令和5年11月28日

記者発表

第21回紀の国チャレンジド賞及び紀の国チャレンジド・サポート感謝状授与式の開催について

障害を克服し、生き生きとした社会生活を送られている障害者（チャレンジド）を表彰するとともに、そのような障害者の社会生活を支えておられる方に対する感謝状の授与式を下記のとおり行います。

この表彰は、障害者の自立と社会参加の促進、ノーマライゼーション社会の実現を図るため、平成15年度から実施しているものです。

記

1 表彰内容（表彰を受ける方は別添のとおり）

・紀の国チャレンジド賞（知事賞）

チャレンジ賞 1名

障害者であって障害を前向きにとらえ、社会のあらゆる方面において意欲を持って挑戦し、障害者に夢と希望を与え、他の障害者の模範となる方。

・紀の国チャレンジド・サポート感謝状（知事感謝状）

更生援護功労者 4名

障害者個人、障害者福祉の関係団体、施設等に対し、10年以上にわたり援護奉仕を行い、それにより障害者個人の自立更生又は障害者福祉の関係団体、施設等の発展に寄与し、もって地域の障害者福祉の向上に著しく貢献している方。

ファミリーサポート功労者 3名

10年以上にわたり障害者を支え、円満な家庭生活を営んでいる配偶者若しくは同居している家族又は20年以上にわたり重度障害者である子の在宅生活を支え、その自立と社会参加を支援している父母。

2 表彰式日時及び場所

令和5年12月7日（木）11：00～

和歌山県庁 本館4階 正庁

担当課	障害福祉課
担当者	松本、平岡、辻岡
電話	073-441-2532

○紀の国チャレンジド賞（知事賞）

<チャレンジ賞>

年齢は令和5年12月7日現在

推薦市町村名 推薦団体名	氏名	年齢	障害 種別	功績内容等
共同作業所 連絡会	堀本 久美子 ほりもと くみこ	45	精神	精神障害がある自らの体験を活かしたピアサポーター活動に取り組んでいる。精神障害の方への支援に留まらず、障害福祉に携わる職員、介護・教育分野関係者、地域住民への普及啓発やピアサポーターの養成など、活動は多岐にわたる。

○紀の国チャレンジド・サポート感謝状（知事感謝状）

<更生援護功労者部門>

年齢は令和5年12月7日現在

推薦市町村名 推薦団体名	氏名	年齢	功績内容等
和歌山市	磯 知子 いそ ともこ	78	平成9年5月に和歌山市精神障害者家族会つばさの会に入会し、重度の精神障害のある子供の治療に取り組む一方で、イベント時には手伝いを行うなど、会の活動にも力を注いできた。 平成26年4月に役員に就任してからも、率先して会のイベントに参加する等、長きにわたり地域の障害者福祉の向上に貢献している。
有田市	狗巻 万喜子 いぬまき まきこ	66	平成10年4月に有田市障害児者父母の会に入会し、障害児を持つ保護者の相談役として、他の保護者からの信頼も厚く何事にも常に前向きな姿勢で取り組んでいる。 平成18年から、有田市障害児者父母の会会計として会の運営に尽力し、保護者の長年の願いであったグループホーム建設に際しては「グループホーム推進委員会」のメンバーとして力を発揮した。
障害児者 父母の会	吉田 幸子 よしだ さちこ	74	知的障害のある子供を懸命に育てながら、親として障害児者の福祉を増進する活動を率先して行ってきた。 平成14年6月に和歌山市障害児者父母の会の理事に就任するとともに、平成14年に開所した入所更生施設「綜愛苑」の保護者会副会長を務めるなど、他の保護者、施設職員からも絶大な信頼を得ている。
自閉症協会	ご本人の希望により非公表		

<ファミリーサポート功労者部門>

年齢は令和5年12月7日現在

推薦市町村名 推薦団体名	氏名	年齢	功績内容等
橋本市	喜多 一美 きた かずみ	76	昭和50年に結婚し、二人の子供の育児に励んできた。 視覚障害のある夫を家族とともに支え、橋本市身体障害者連盟の活動や障害者スポーツに積極的に取り組む夫の活動参加や外出等の付き添いとして、長年にわたって優しく援助を続けてきた。
御坊市	柳岡 サト子 やなおか さところ	87	昭和39年11月、両手両足に障害がある重度障害児を出産。 自動車の運転免許を取得し、自動車で幼稚園から高校まで学校の送り迎えや、遠足、修学旅行にも同行した。 また、パラリンピック（卓球競技）の予選であるアメリカ、台湾、ベルギーでの大会をサポートするなど、重度障害者の子供の在宅生活を60年近くにわたり支えている。
田辺市	幡山 眞弓 はたやま まゆみ	71	昭和49年に結婚し、四人の子供にも恵まれた。 平成18年、夫が脳内出血を発症し、国の指定難病「もやもや病」と認定。後遺症により左半身に麻痺が残り、下肢装具や車椅子が必要となっからは、日常生活や仕事、社会参加活動など、様々な面で夫を支えてきた。 現在、自身にも体調不安があるにも関わらず、田辺市身体障害者連盟の会長として活躍する夫を支えながら、円満な家庭生活を営んでいる。